



# 2020年3月期決算説明資料

---



2020年4月27日  
メタウォーター株式会社

## <セグメント情報>

- プラントエンジニアリング事業(略語:PE事業):国内EPC事業、海外事業  
当セグメントでは、浄水場内の浄水プロセス、下水処理場内の下水処理プロセス、汚泥処理プロセス、燃料化プロセスに使用する機械設備の設計・建設と、それらを運転、監視、制御するための電気設備の設計・建設を核とした各種エンジニアリングを主たる業務としています。
- サービスソリューション事業(略語:SS事業):国内O&M事業、国内PPP事業  
当セグメントでは、浄水場、下水処理場、ごみ処理施設・リサイクル施設向けの機械設備や電気設備の補修工事、運転・維持管理(保守・点検)、運営などの各種サービスを主たる業務としています。

## <語句説明>

EPC	Engineering, Procurement and Construction:設計・建設
O&M	Operation and Maintenance:運転・維持管理
PPP	Public-Private Partnership(公民連携):公共サービスの提供に民間が参画する手法
PFI	Private Finance Initiative:公共施設の設計・建設、運転・維持管理、運営、資金調達に民間を活用する公共事業の手法
DBO	Design, Build and Operate:公共施設などの設計・建設、運転・維持管理に民間を活用する公共事業の手法
コンセッション	公共施設の所有権と事業経営の認可を公的機関に残したまま、民間企業に事業運営権を長期間にわたって付与する手法

新型コロナウイルス感染症が世界中に広がり、私たちの生活にも多大な影響を与えていますが、一日も早い終息を願っております。  
当社は、引き続き感染拡大防止に取り組みながら、市民生活に欠かせない「水・環境インフラ」の持続に貢献してまいります。

#### ■2020年3月期の業績への影響について

業績に与える影響はほとんどありませんでした。

#### ■2021年3月期の業績(予想)への影響について

現時点では、新型コロナウイルスの感染拡大による業績への影響は織り込んでおりません。今後の新型コロナウイルスの感染状況に対する国・地方自治体の対応と連携し、当社事業への影響などが明らかになった場合には、適時適切に情報を開示いたします。

I 2020年3月期決算概要  
2021年3月期通期業績・配当予想

II 中期経営計画2020(2019年3月期～2021年3月期)  
の進捗と今後の方針

I 2020年3月期決算概要  
2021年3月期通期業績・配当予想

II 中期経営計画2020(2019年3月期～2021年3月期)  
の進捗と今後の方針

# '20/3期決算ハイライト(連結)

## \* 受注高

ごみリサイクル施設向けなどが好調に推移し、前期実績ならびに前回予想を上回り、受注残高も引き続き**高水準で推移**。

[参考]受注残高 '19/3期末1,424億円→'20/3期末1,386億円

## \* 売上高・利益

売上高は、PE事業(国内EPC、海外)、SS事業(O&M、PPP)ともに好調に推移し**増収**。利益は、戦略開発投資を予定通り実施し、営業利益、経常利益、当期純利益ともに**増益**。  
**売上高、各利益とも、概ね前回予想通り**。

## \* 配当

安定配当の方針に基づき、年間71円(第2四半期末31円、期末40円\*)に増配

(億円)

	受注高	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	配当(円)
当期実績	1,250 予想比: +50 前期比: +12	1,287 予想比: +37 前期比: +114	82 予想比: ±0 前期比: +6	81 予想比: ▲1 前期比: +5	57 予想比: ±1 前期比: +5	71*
	—	—	利益率: 6.4%	利益率: 6.3%	利益率: 4.4%	—
前回予想 (1月29日付)	1,200	1,250	82	82	56	71
前期実績	1,238	1,173	76	76	52	62
	—	—	利益率: 6.5%	利益率: 6.5%	利益率: 4.4%	—

## 事業活動

- \* ベンチャー投資(Corporate Venture Capital)の推進  
(株)プラントフォーム\*、(株)あしたのチーム\*の第三者割当増資による株式取得(3月)【\*両社概要はP.33参照】
- \* 米国Wigen Companies, Inc.の全株式を取得(2020年4月)

## 社会貢献・環境保全、コミュニケーション活動

- \* 仙台市と水源かん養林保全活動協定を締結(1月)
- \* 名古屋市下水道科学館のネーミングライツ契約を締結(1月)
- \* TBSラジオ「RADIO EXPO ～TBSラジオ万博2020～」(横浜)に出展(2月)
- \* 当社社長 中村 靖 著書「WOODAP(ウーダップ)～上下水道の未来への処方箋」が発売(3月)

※'20/3期(年間)の成果については、当社ホームページ(2019年のニュース)をご参照下さい。  
<https://www.metawater.co.jp/news/2019/>

# 連結損益計算書の状況(対前年増減)

(億円)

	'19/3期 通期実績	'20/3期 通期実績	増 減
売上高	1,173	1,287	+114
営業利益	76	82	+6
(営業利益率)	6.5%	6.4%	▲0.1%
経常利益	76	81	+5
親会社株主に帰属する 当期純利益	52	57	+5

## 売上高 増減

国内EPC、海外、PPP、  
O&Mが好調に推移

PE	+68
SS	+45

## 営業利益 増減

売上増影響	+23
低粗利案件影響	-8
M&A費用等	-6
戦略開発投資等	-3

## 営業外損益 増減

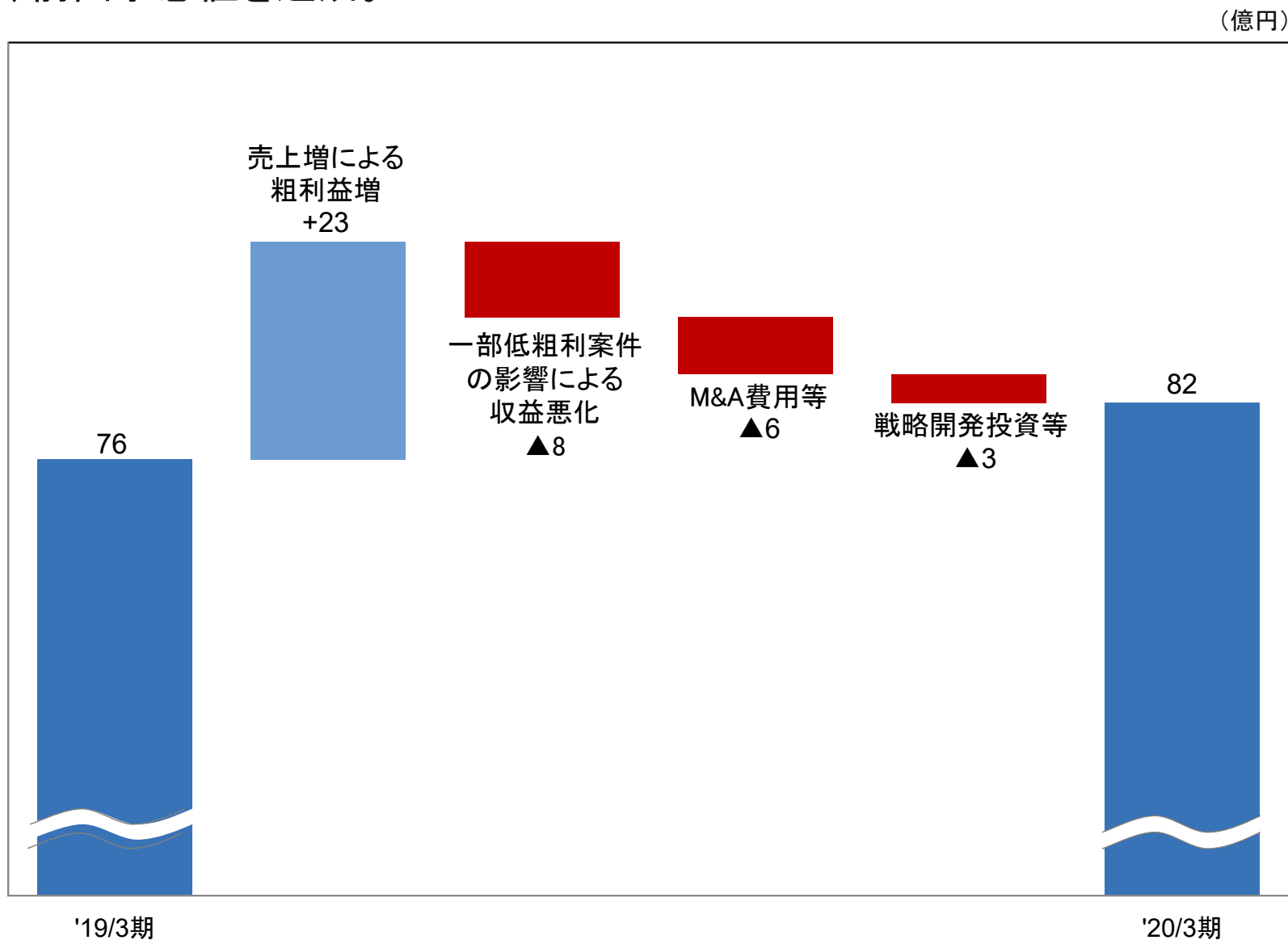
為替影響	-1
------	----

\* 10百万円単位を四捨五入(以降の実績値も同様)



# 営業利益増減要因(対前期比)

'20/3期は、一部低粗利案件の影響、M&A費用、戦略開発投資等の増を増収効果でカバーし、前回予想値を達成。



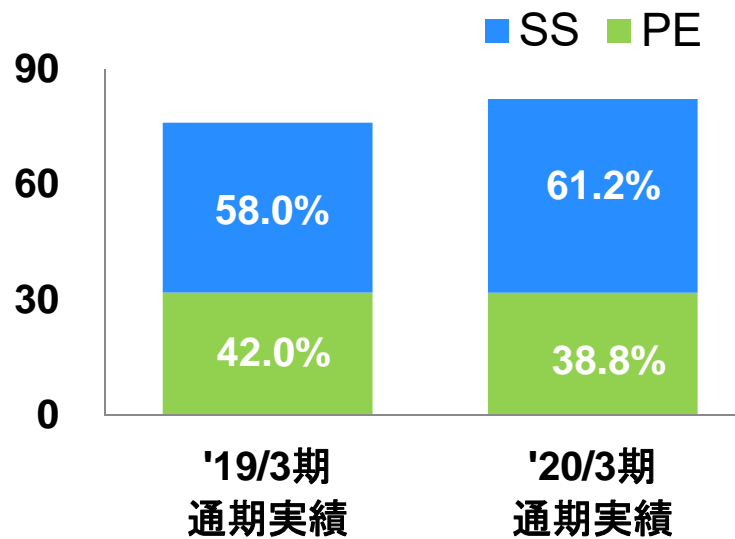
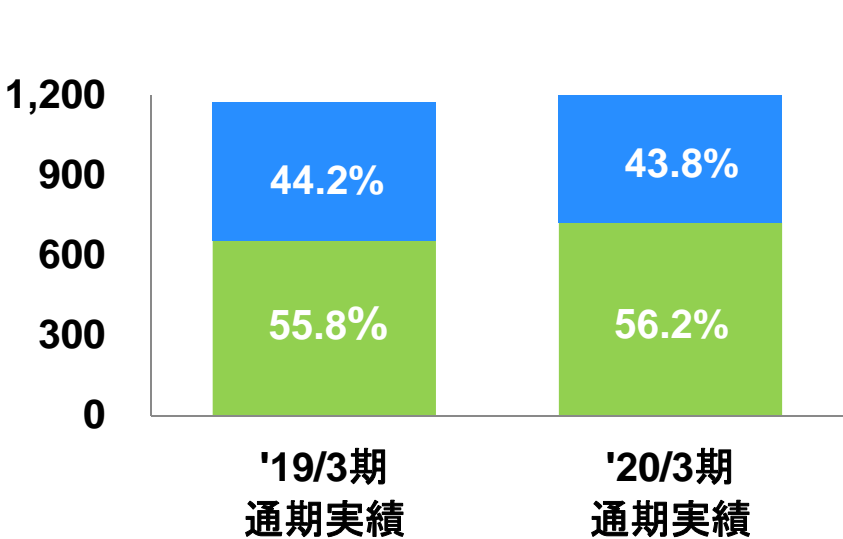
# セグメント別概況(対前年増減)

(億円)

	売上高		
	'19/3期 通期実績	'20/3期 通期実績	増減
PE	655	724	+68
SS	518	564	+45
合計	1,173	1,287	+114

	営業利益(営業利益率)		
	'19/3期 通期実績	'20/3期 通期実績	増減
PE	32 <sub>(4.9%)</sub>	32 <sub>(4.4%)</sub>	▲0
SS	44 <sub>(8.5%)</sub>	50 <sub>(8.9%)</sub>	+6
合計	76 <sub>(6.5%)</sub>	82 <sub>(6.4%)</sub>	+6

	概況
プラントエンジニアリング	<p>国内EPC事業: 売上高は好調に推移したものの、営業利益は案件構成の違い等により概ね前期と同水準にて推移。</p> <p>海外事業: 売上高及び営業利益共に概ね前期と同水準にて推移。</p>
サービスソリューション	<p>PPP事業: 売上高及び営業利益共に好調に推移。</p> <p>O&amp;M事業: 売上高及び営業利益共に好調に推移。</p>



# 連結貸借対照表の状況

(億円)

	'19/3期 期末実績	'20/3期 期末実績	増 減
現金・預金	286	136	▲149
売上債権	763	781	+18
棚卸資産	86	81	▲5
その他	21	21	+1
<b>流動資産計</b>	<b>1,155</b>	<b>1,019</b>	<b>▲136</b>
有形固定資産	32	32	▲0
無形固定資産	61	60	▲1
繰延税金資産	33	28	▲5
その他	46	55	+10
<b>固定資産計</b>	<b>171</b>	<b>175</b>	<b>+4</b>
<b>総資産計</b>	<b>1,326</b>	<b>1,195</b>	<b>▲132</b>

	'19/3期 期末実績	'20/3期 期末実績	増 減
買入債務	303	355	+52
短期借入金	*1 (8) 12	(9) 11	▲1
前受金	161	90	▲71
その他	87	87	▲1
<b>流動負債計</b>	<b>563</b>	<b>543</b>	<b>▲20</b>
長期借入金	*2 (107) 126	(98) 114	▲12
その他	47	42	▲6
<b>固定負債計</b>	<b>173</b>	<b>155</b>	<b>▲17</b>
<b>負債計</b>	<b>736</b>	<b>699</b>	<b>▲37</b>
<b>純資産計</b>	<b>590</b>	*3 496	<b>▲94</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>1,326</b>	<b>1,195</b>	<b>▲132</b>

\*1 \*2 : カッコ内の数値はPFI等プロジェクトファイナンス・ローンの金額

\*3 : 自己株式取得による▲143億円を含む

# 連結キャッシュ・フローの状況

(億円)

	'19/3期 通期実績	'20/3期 通期実績	増 減
現金・現金同等物の前期残高	250	278	+28
営業キャッシュ・フロー	62	35	▲27
投資キャッシュ・フロー	-8	-14	▲6
フリー・キャッシュ・フロー	54	21	▲33
財務キャッシュ・フロー	-26	-170	▲144
現金・現金同等物に係る 換算差額	0	0	0
現金・現金同等物の期末残高	278	129	▲149

# '21/3期 業績・配当予想

## \* 受注高・売上高・利益

「中期経営計画2020」最終年度である'21/3期は、長期ビジョンの実現に向けて受注高、売上高、各利益ともに期初計画の達成を目指す。

## \* 配当

年間配当を80円(第2四半期末40円、期末40円)に増配予定。

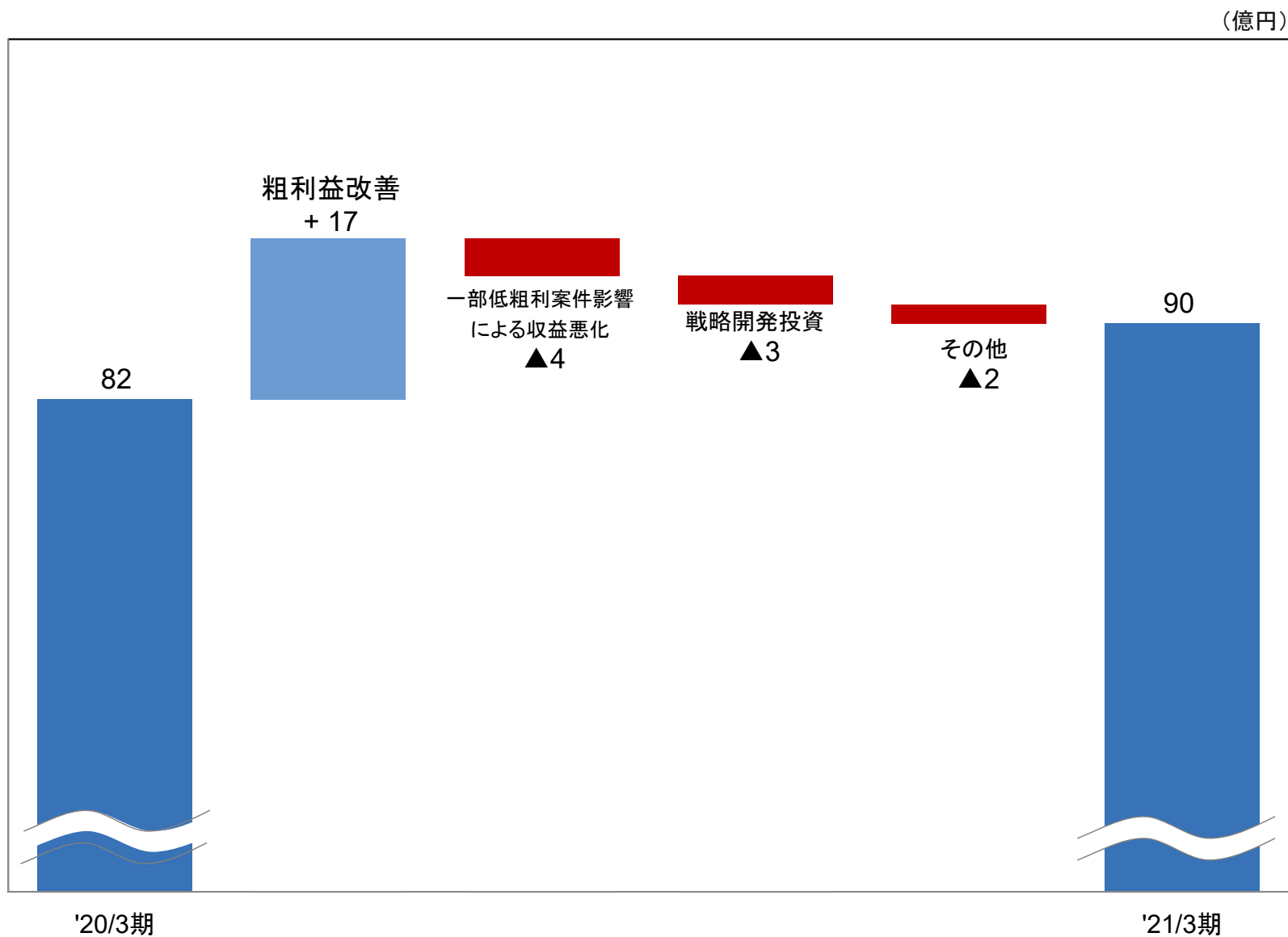
\* 現時点では、新型コロナウイルス感染拡大による影響を織り込んでおらず、当社業績への影響等が明らかになった場合は、適時適切に情報を開示する。

(億円)

	受注高	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	年間配当(円)
'21/3期 予想	1,400 前期比:+150億円 +12.0%	1,300 前期比:+13億円 +1.0%	90 前期比:+8億円 +9.8%	90 前期比:+9億円 +11.1%	62 前期比:+5億円 +10.7%	80
	—	—	利益率: 6.9%	利益率: 6.9%	利益率: 4.8%	—
'20/3期 実績	1,250	1,287	82	81	56	71
	—	—	利益率: 6.4%	利益率: 6.3%	利益率: 4.4%	—

# 営業利益増減要因(対'20/3期実績値)

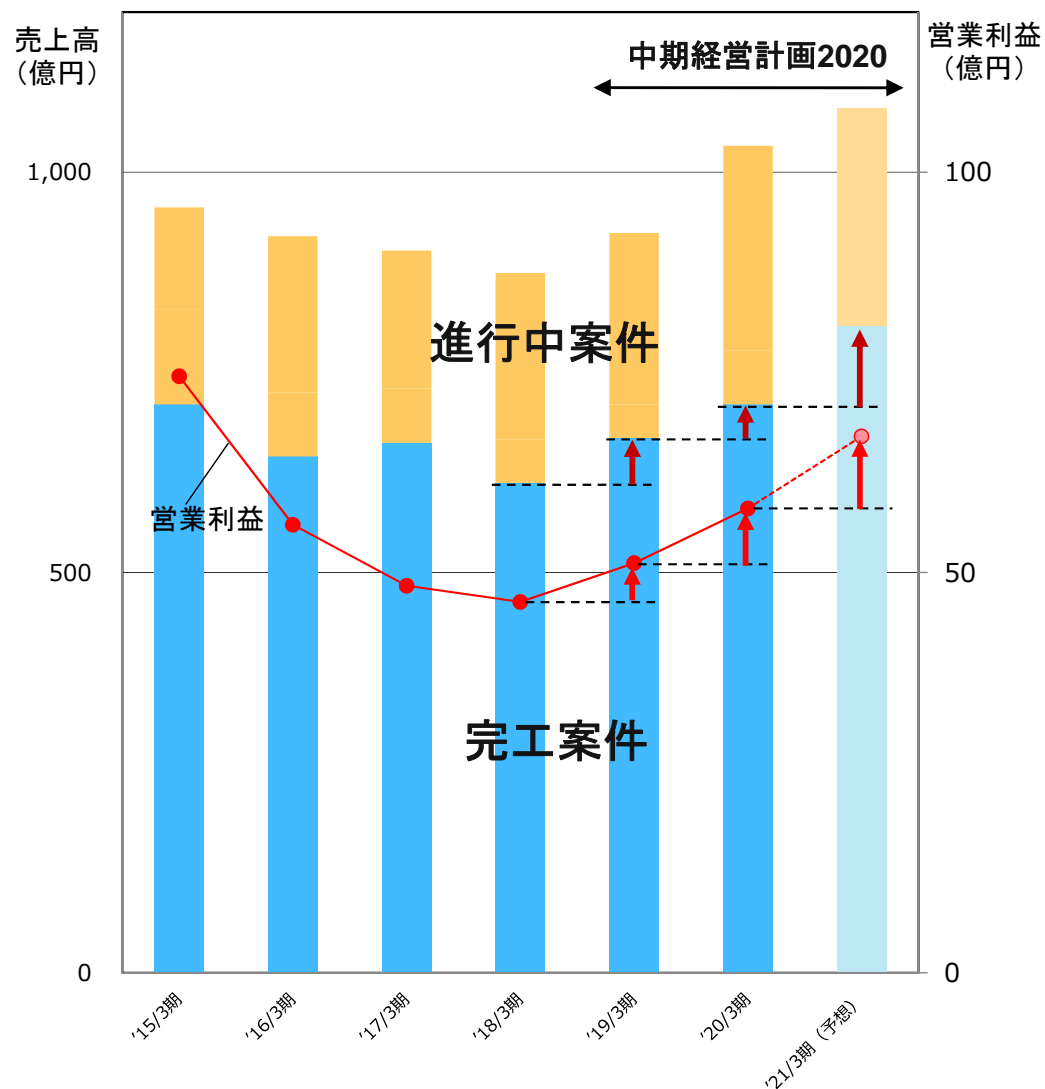
'21/3期は、売上増ならびに低粗利案件の解消により「中期経営計画2020」の達成を目指す。



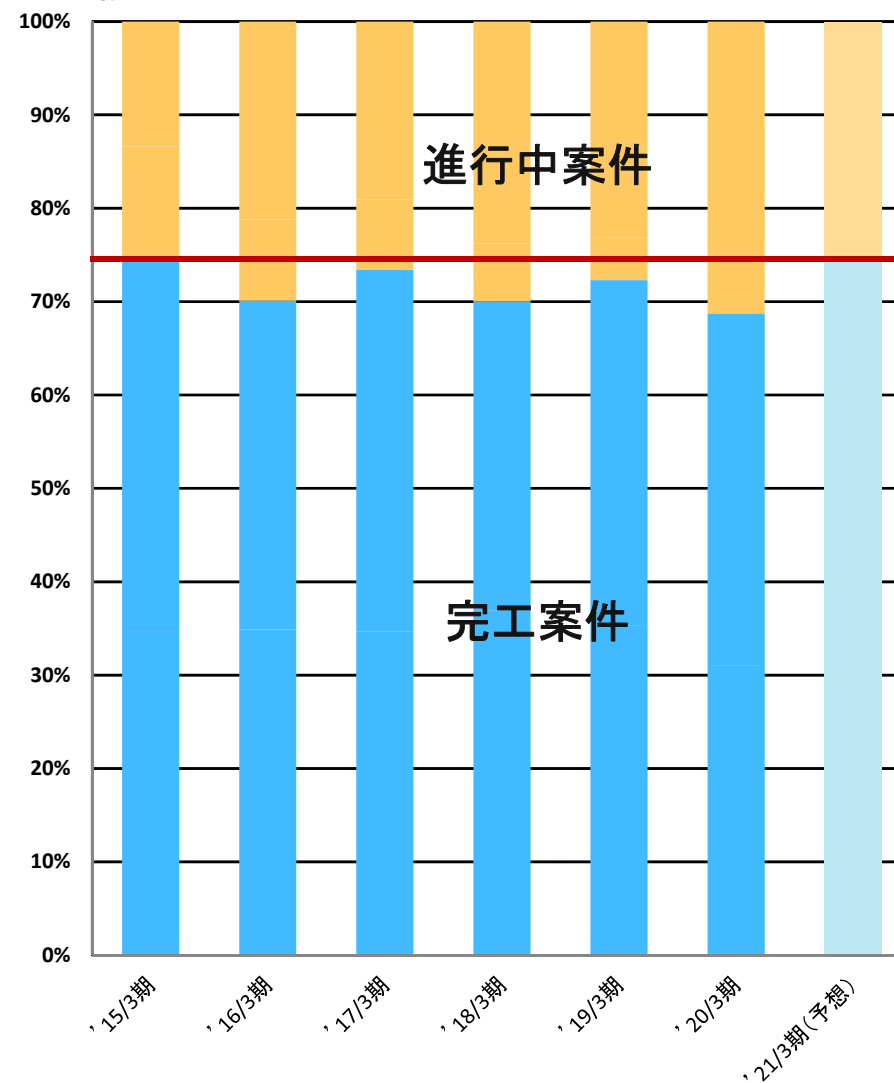
# 売上高に占める完工案件の割合(単体)

'18/3期を底に収益性の高い工事完了案件の売上高が増加し、完工案件の構成比も  
'15/3期の水準に回復する見通し。

売上高推移



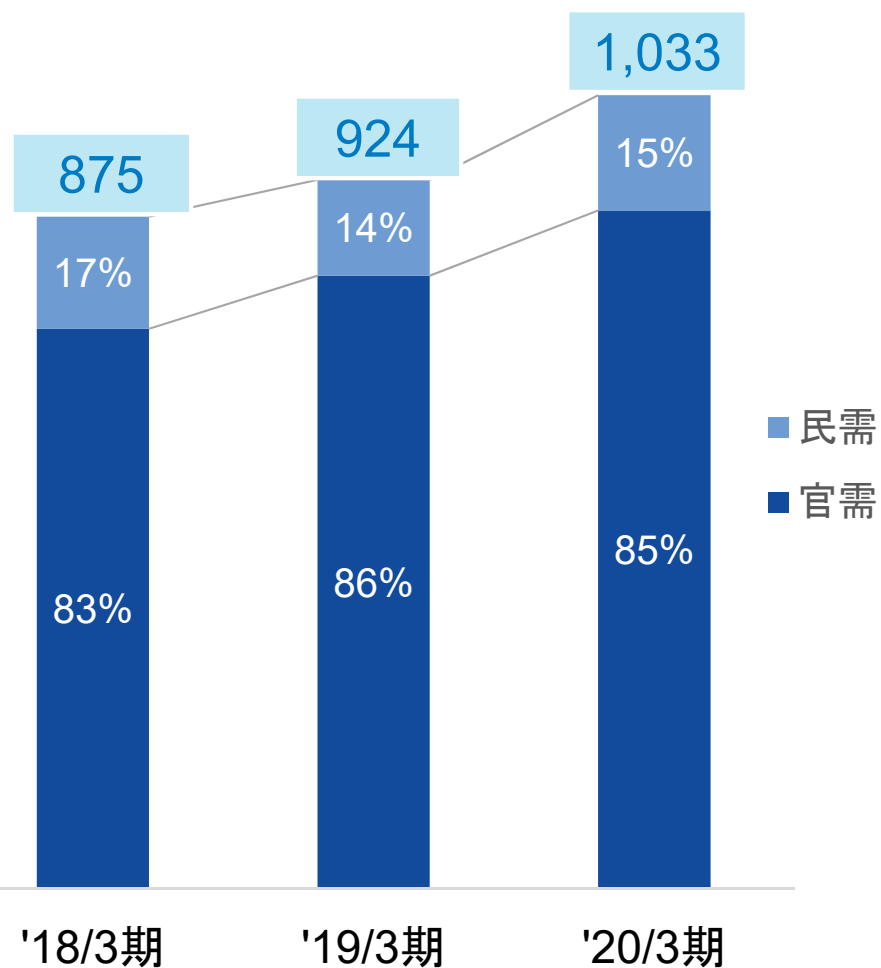
構成比推移



# 売上の状況(単体)

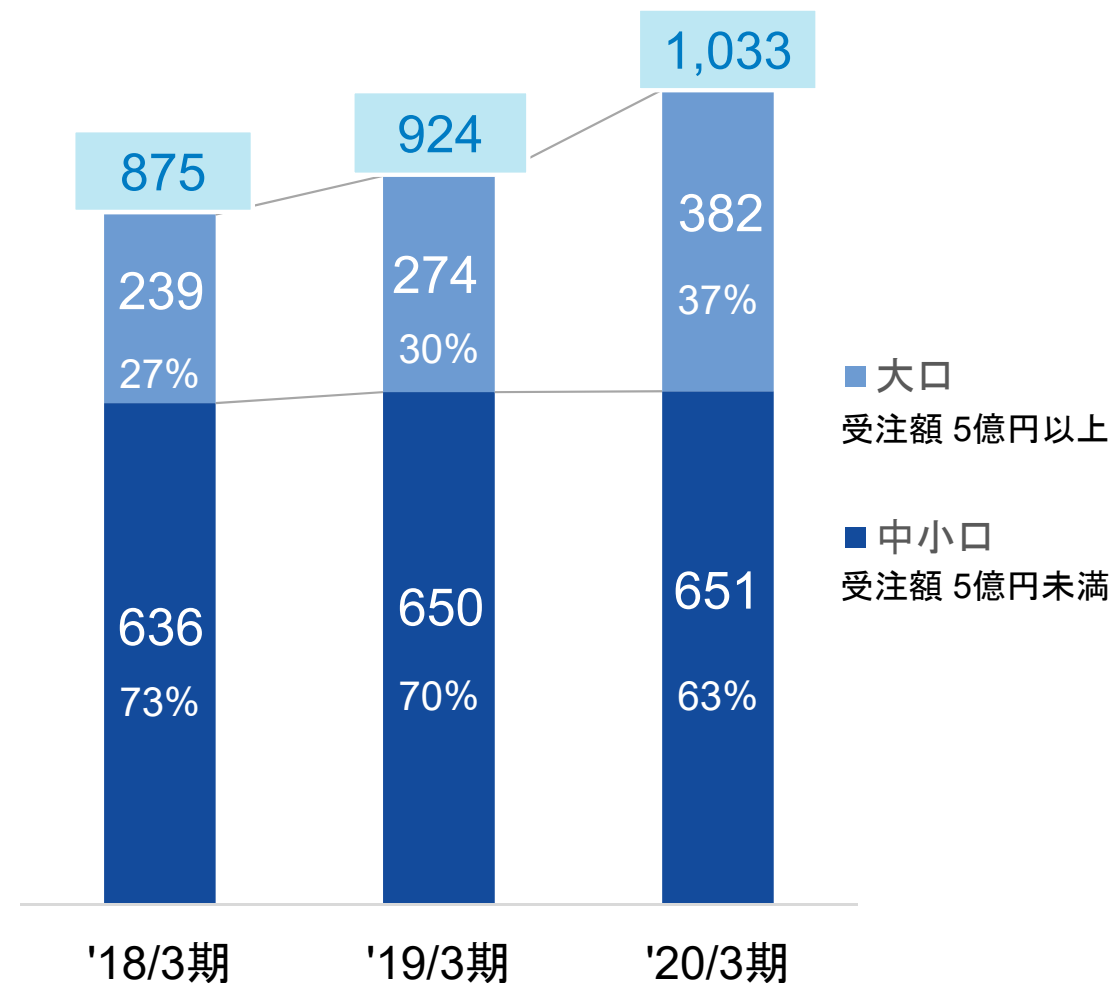
## 1. 官需・民需別\*

(億円)



## 2. 金額別

(億円)

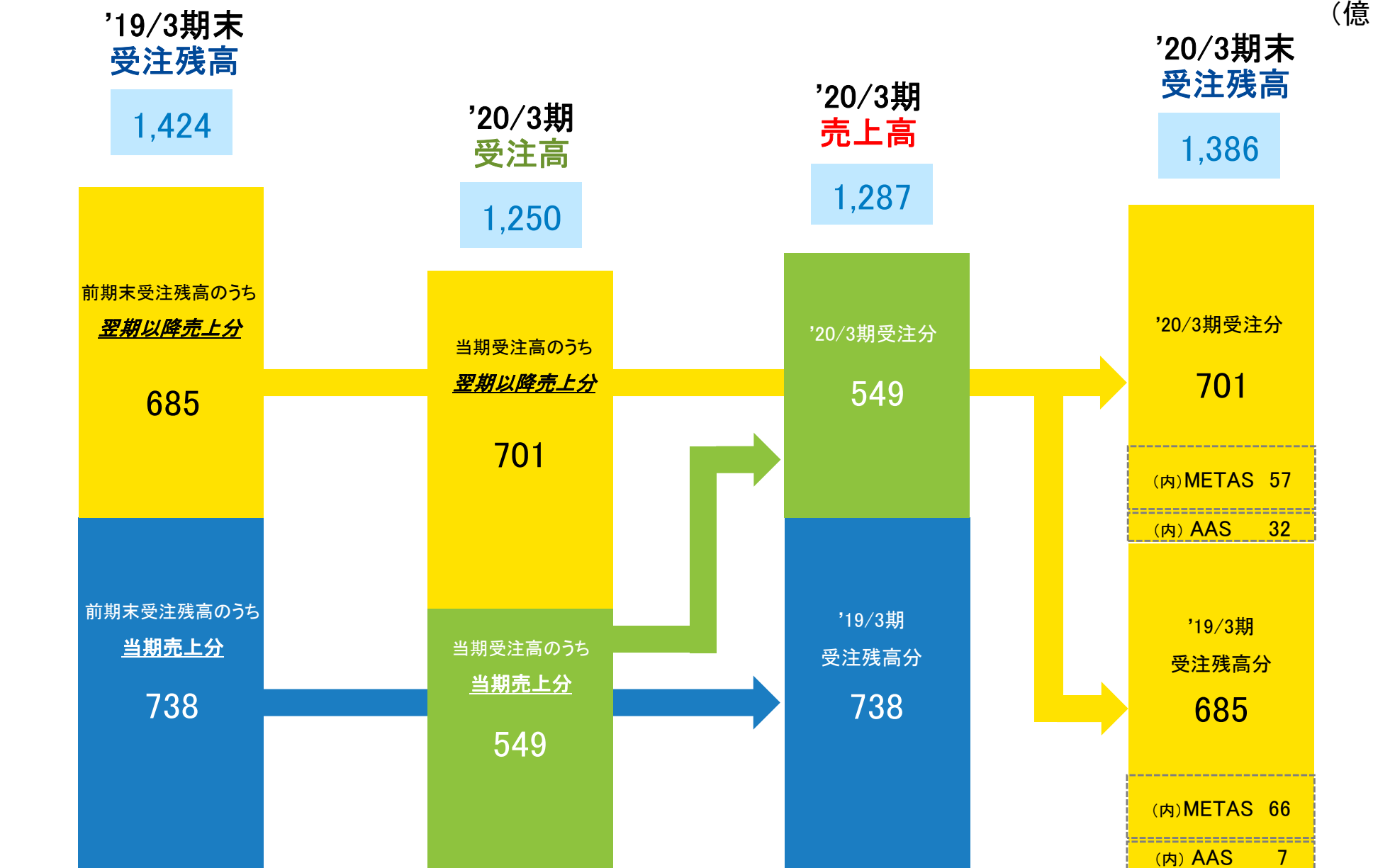


\*契約顧客別



# '20/3期の売上高構成について(連結)

(億円)

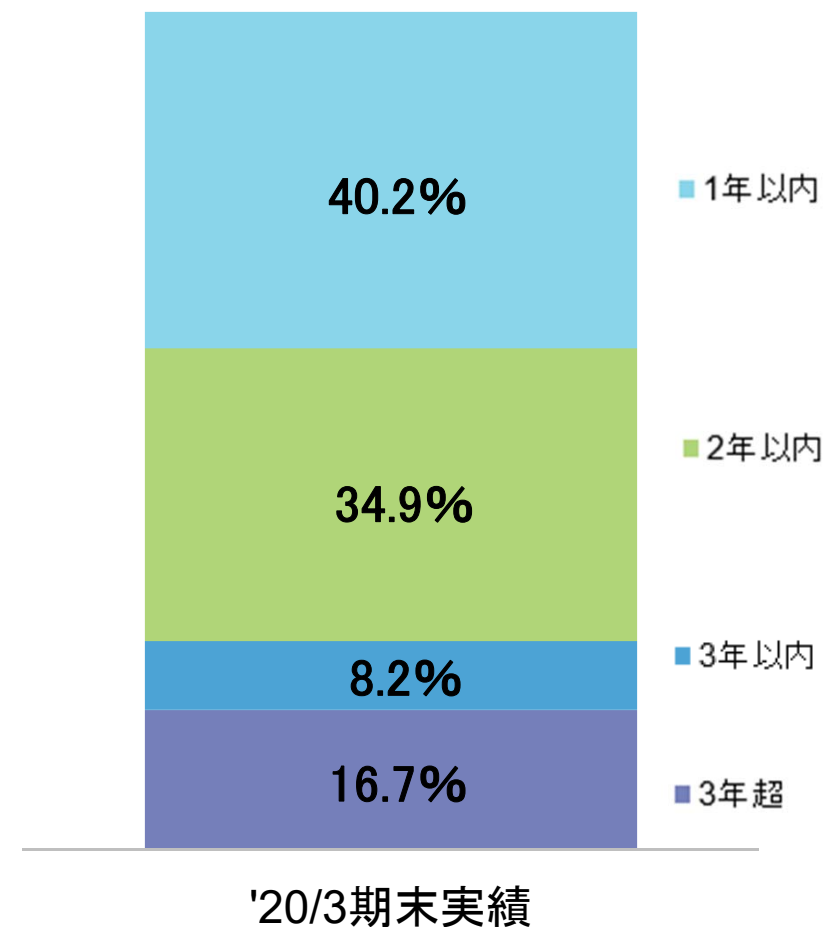


※ METAS: メタウォーターサービス  
AAS: Aqua-Aerobic Systems

# 受注残高による売上充足状況(連結)

(億円)

契約工期	'20/3期末実績
1年以内	557
2年以内	484
3年以内	114
3年超	231
<b>合計</b>	<b>1,386</b>





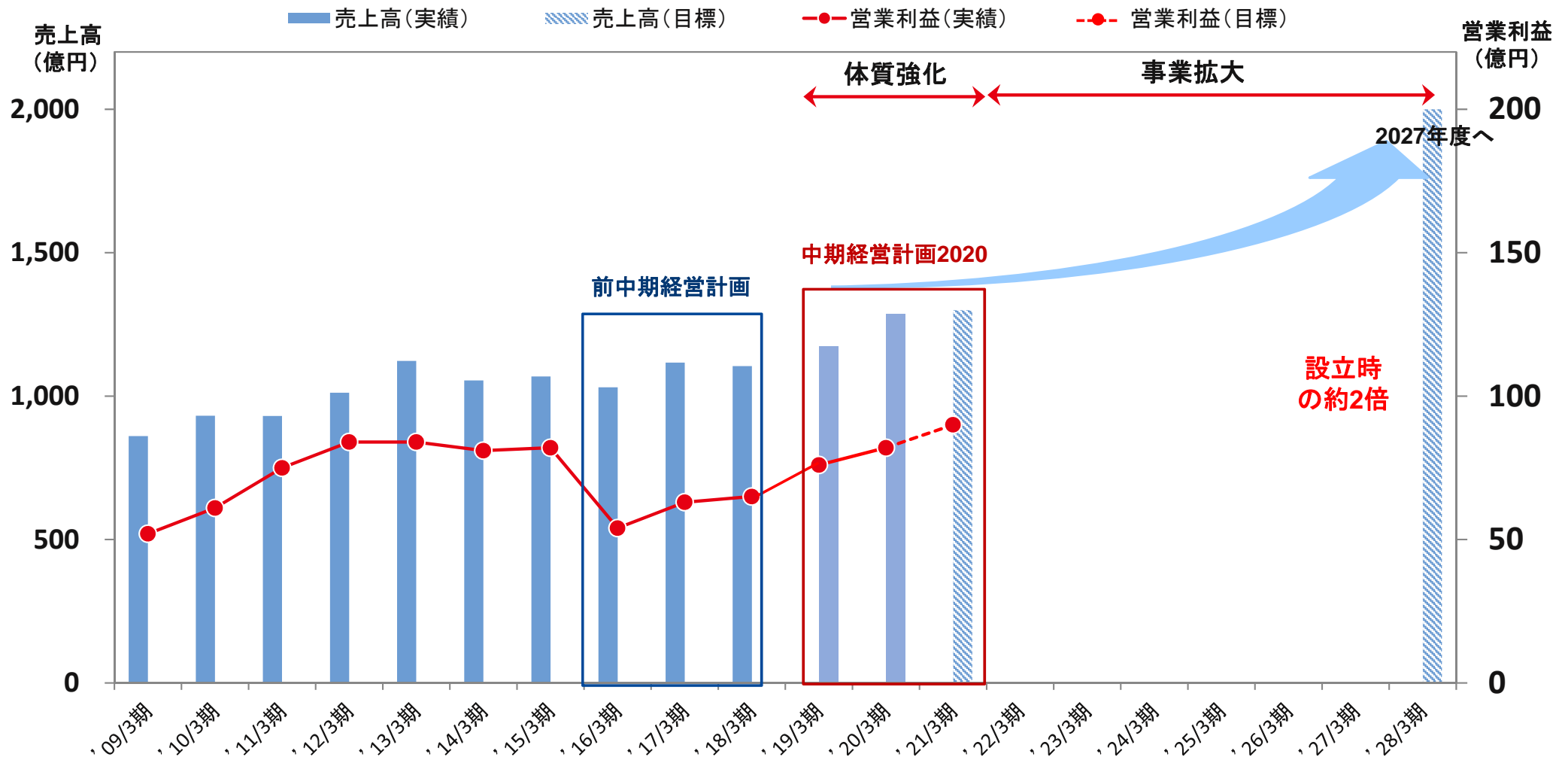
# 目次

I 2020年3月期決算概要  
2021年3月期通期業績・配当予想

II 中期経営計画2020(2019年3月期～2021年3月期)  
の進捗と今後の方針

# 長期ビジョンの実現に向けて

「中期経営計画2020」を達成し、長期ビジョンの実現に全社を挙げて取り組む。



\* '11/3期までは当社単体の売上高及び営業利益、'12/3期より連結による売上高、営業利益を示す

## 第1ステージ

2019年度実施済  
業務効率**10%**アップ

### 制度改革

- 1) リモート業務環境の整備
  - ① ICT環境の整備
  - ② サテライトオフィス整備
  - ③ 在宅勤務推奨
- 2) ノンコアフレックスタイム運用拡大
- 3) 週休3日制の導入
- 4) 規定就業時間の短縮
- 5) ABW\* 実施(西日本 5月)

## 第2ステージ

2020年度～  
同**20%**アップ  
第1ステージと合わせ同**30%**アップ

### 業務フロー改革

- 1) 業務見直し  
(WOODAP応用)
- 2) アウトソーシングの促進
- 3) 共通業務だけを行う専門組織を編成
- 4) より透明性の高い業績評価  
あしたのチーム社  
「ゼットイ！評価®」  
「あしたのクラウド™ HR」
- 5) DX時代に向けた準備  
創出した30%の時間はDXの準備に充当

## 第3ステージ

### PPPビジネスへの展開

- 1) 運転管理業務の分析
- 2) 業務の高度化  
生産性向上+品質向上  
+安全確保

\* ABW: Activity-based working オフィスの中で仕事の内容に合わせて働く場所を選ぶ生産性の高い働き方。

# '20/3期の成果－働き方改革

## 当社の働き方改革の取り組み

施策	概要	導入時期
サテライトスペース	本社、日野、名古屋、大阪、立川、仙台、神戸、中津川、荒尾に設置済み。今後も拡大予定。	2017年11月から順次設置
テレワーク制度	社員70%にツールを供給済み。早期に100%供給を図る。	2019年6月
週休3日制	試行期間を終了し本格運用開始	2019年6月
ジョブ・リターン制度	育児、介護、配偶者の転勤、キャリアアップを理由に退職した社員を再雇用する制度。	2018年4月
<b>'21/3期以降導入予定</b>		
所定労働時間の短縮	7時間45分から7時間15分とし、月間11時間、年間132時間(5.5日)の労働時間を短縮。	2020年4月
積立休暇の見直し	育児や介護と仕事のバランスをよりとりやすくするために積立日数上限を35日から100日へ引き上げ。	2020年6月
「スーパー現場代理人制度」の導入	優れた現場代理人を表彰し、当社部長クラス同等の処遇とする制度。	2020年6月
60歳以降の処遇制度の見直し	ベテラン人材の活躍に向け、60才以降も処遇を維持し、最大75才まで活躍できる仕組み。	2021年6月

\* 働き方改革の取り組み(週休3日制、サテライトオフィス設置など)が、東京労働局HP、厚生労働省「働き方・休み方改善ポータルサイト」で紹介(2019年12月)

\* 厚生労働大臣から女性活躍推進の取り組みが優良な企業に与えられる認定制度「えるぼし」を取得(2020年3月)

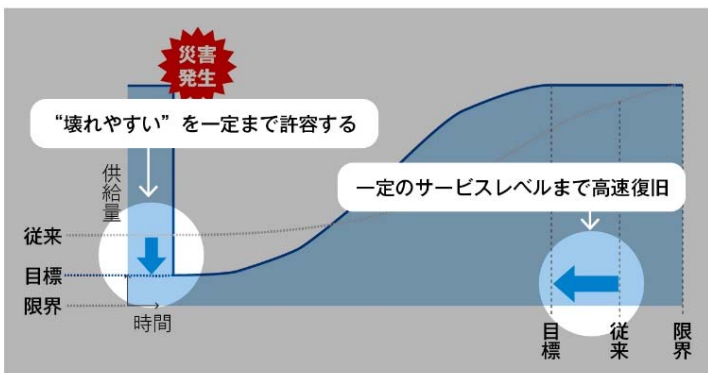
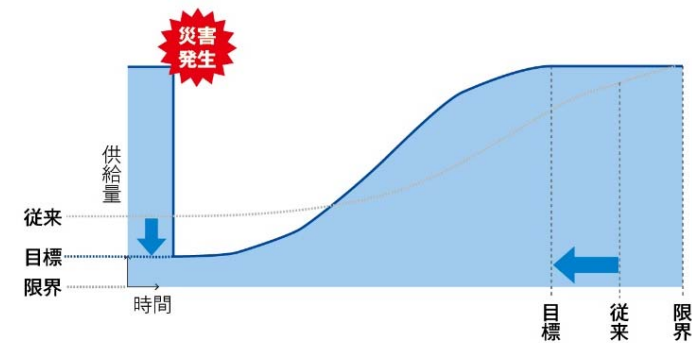


## 「WOODAP」: 災害時の早期復旧を核とした設計・建設、運営・維持管理の当社独自のメソッド

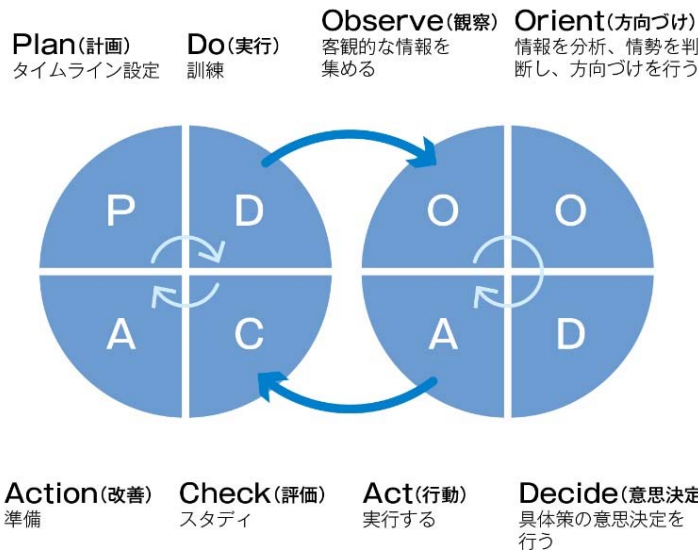
「WOODAP」では「明確な目標」を「タイムライン」と呼び、知恵(Wisdom)と準備(Preparation)ではさんだOODAが目指す姿。明確な目標を設定して、その目標を達成するためにはどうしたらいいのか、知恵を出し合い、災害時などに現場が正確な判断ができる準備をする。

言い換えれば「WOODAP」はPDCAサイクルとOODAループの2つをつなぐこと。

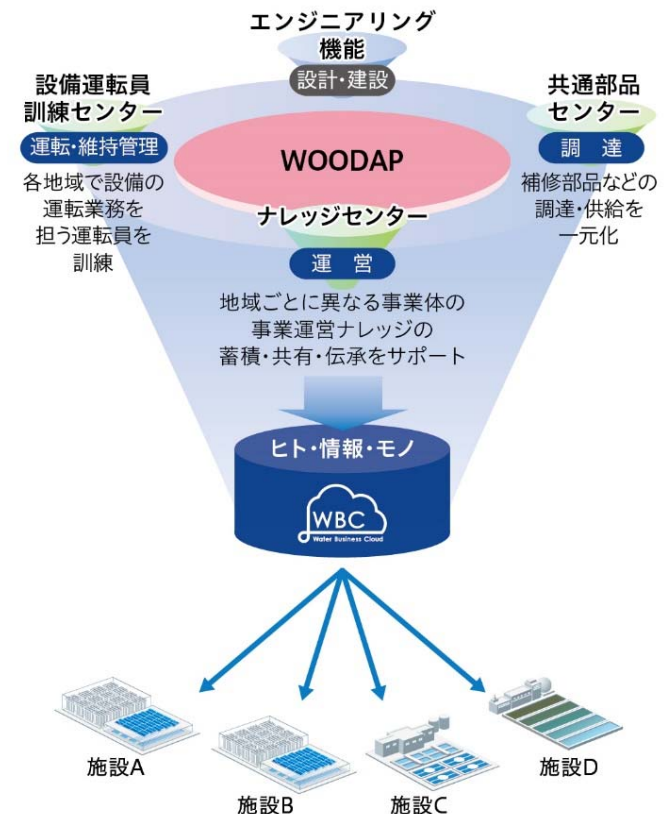
### □タイムラインコントロール



### □PDCAサイクルとOODAループを連結



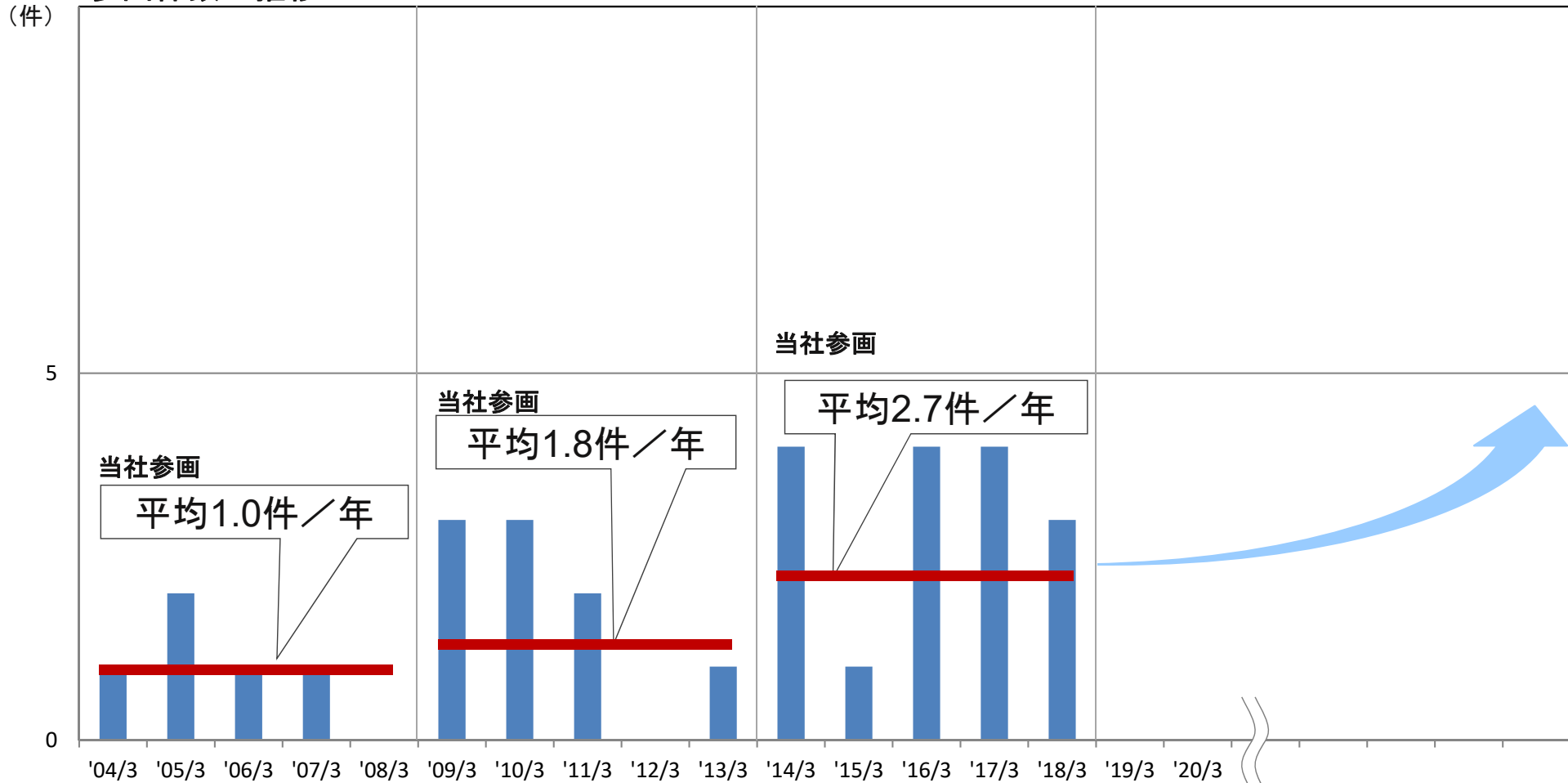
### □「広域化+包括化」に対応するマスメリット経営



# 成長分野 – PPP(公民連携)事業

宮城、熊本のコンセッションの進展により、**PPP需要増加の兆し。**

参画件数の推移



募集件数  
(上下水道分野)

平均1.8件／年

平均3.8件／年

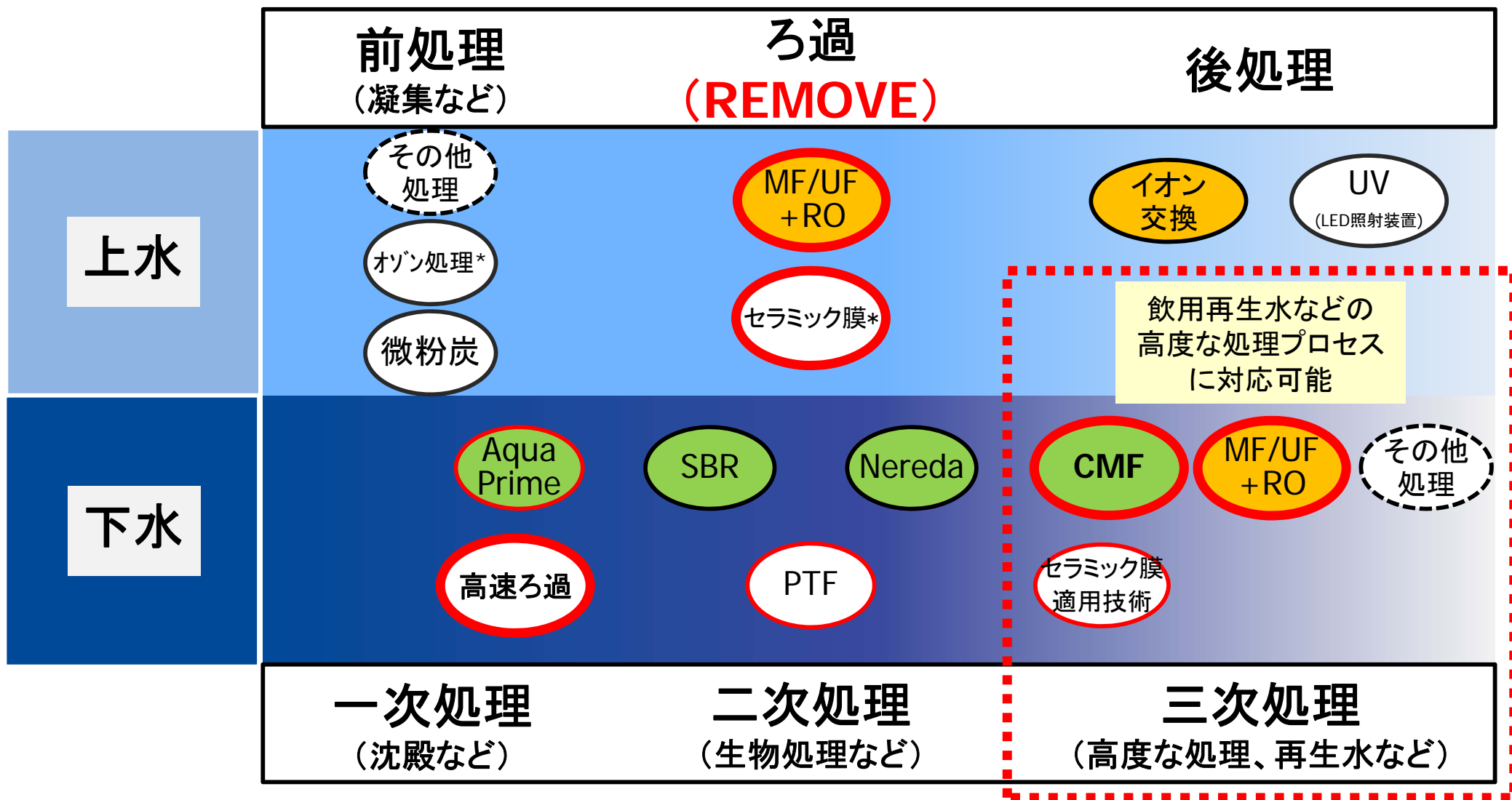
平均5.4件／年  
浜松コンセッション(下水)

宮城コンセッション(上工下水)  
熊本コンセッション(工業用水)など



# 成長分野－海外事業(1)

当社グループが強みを持つ「ろ過技術」を中核に再生水などの高度処理プロセスに対応。



ろ過 技術  
 META 得意技術  
 AAS 得意技術  
 Wigen 得意技術

\*北米に関しては事業をAAS社に移管  
各社の得意技術についてはホームページ参照

# 成長分野ー海外事業(2)

- 北米 : **AAS社**の事業(CMF、Nereda等)を基盤として**確実な成長**。  
: **Wigen社**を通じて**飲用再生水分野の基盤構築**。
- 欧州 : 環境規制強化対策として、独自技術(セラミック膜、CMF)の用途拡大を推進。
- アジア他 : ODAの活用などを通じて、地域ニーズにあわせた取り組みを継続。



MECANA社 (AAS社子会社)  
FUCHS社 (AAS社子会社)  
RWB社 (資本業務提携パートナー)  
PWNT社 (パートナー企業:オランダ水道公社の子会社)

# 主力事業の強化(1)

## 平成29年度B-DASH\*プロジェクトのガイドライン化 最終沈殿池の処理能力向上技術実証研究

(実施者:メタウォーター・日本下水道事業団・松本市共同研究体)

### ■背景

近年、施設老朽化を要因とした下水処理場の部分更新による系列の流入水増減に対し、簡易な工事に対応可能な技術が求められてる。

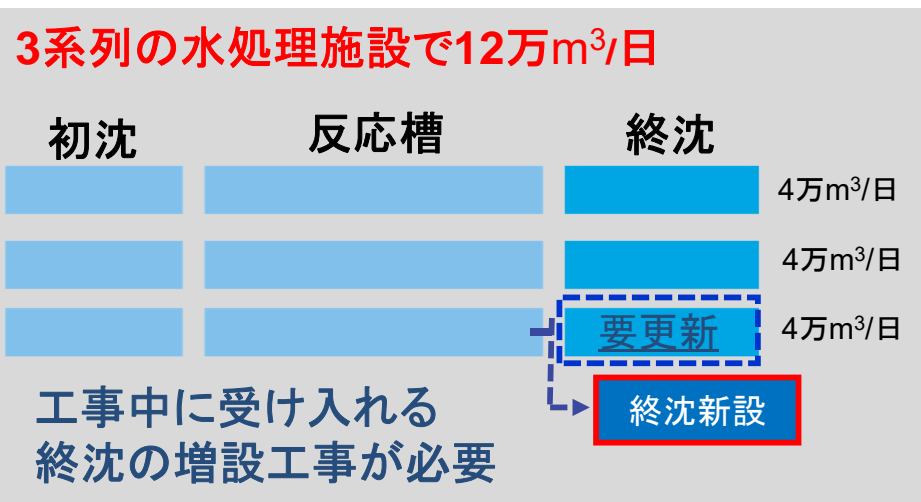
例) A処理場で最終沈殿池を老朽化により更新する場合

<従来> 1系統分の終沈増設が必要。(費用のかかる土木工事が伴う)

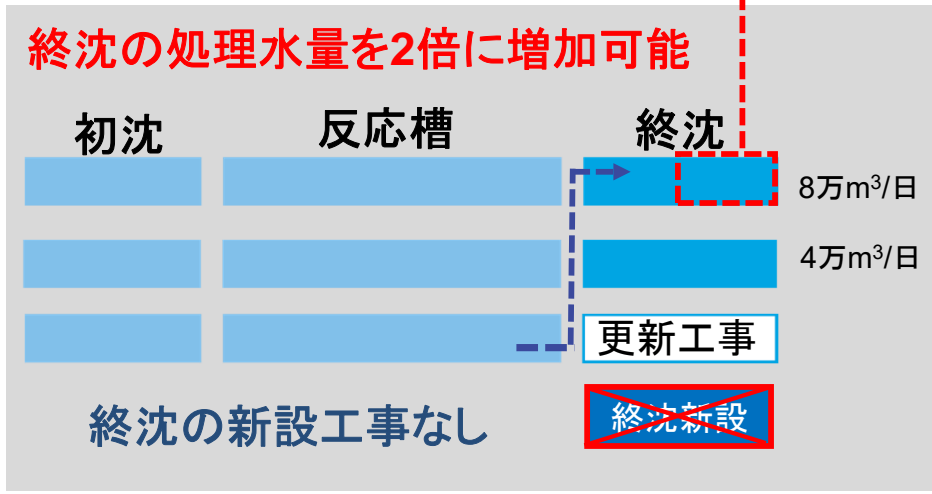
<革新技術> 終沈増設なしで全体の処理水量維持。



既存終沈にカセット型ろ過槽を導入することで終沈の水量を増強



### 終沈の新設工事なし



## 次世代型省エネ焼却システム 流動タービンの受注獲得

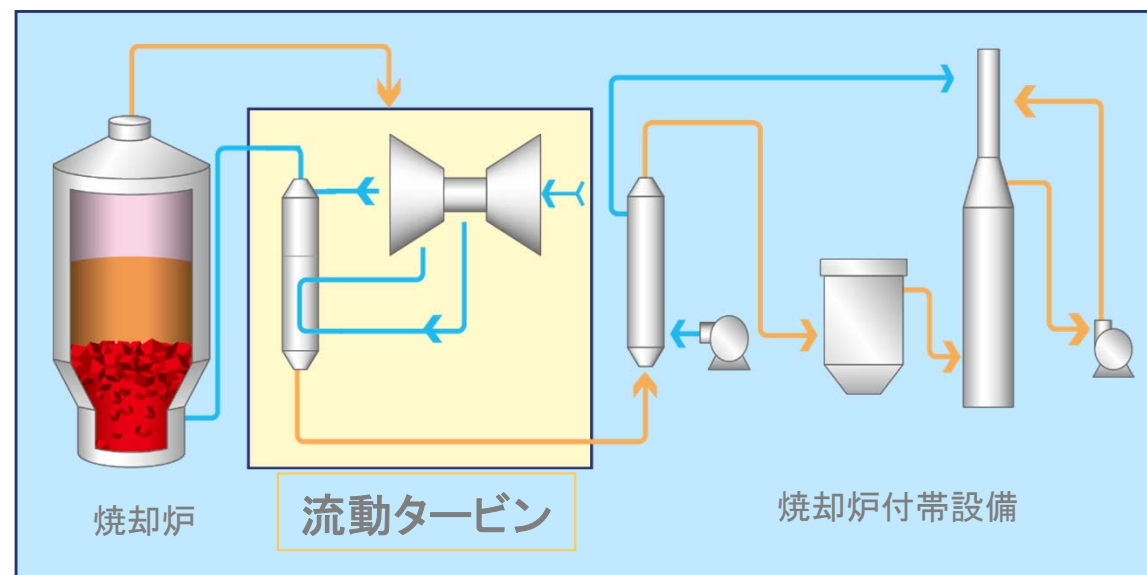
### ■ 特長

#### 従来炉比:消費電力40%削減

焼却設備で最も大きい流動ブロワを不要とすることで、大幅な消費電力削減を実現

#### 既設の汚泥焼却システムへ導入可能

従来設備への導入が可能で、既設炉の改良によって、上記の省電力性能を達成可能

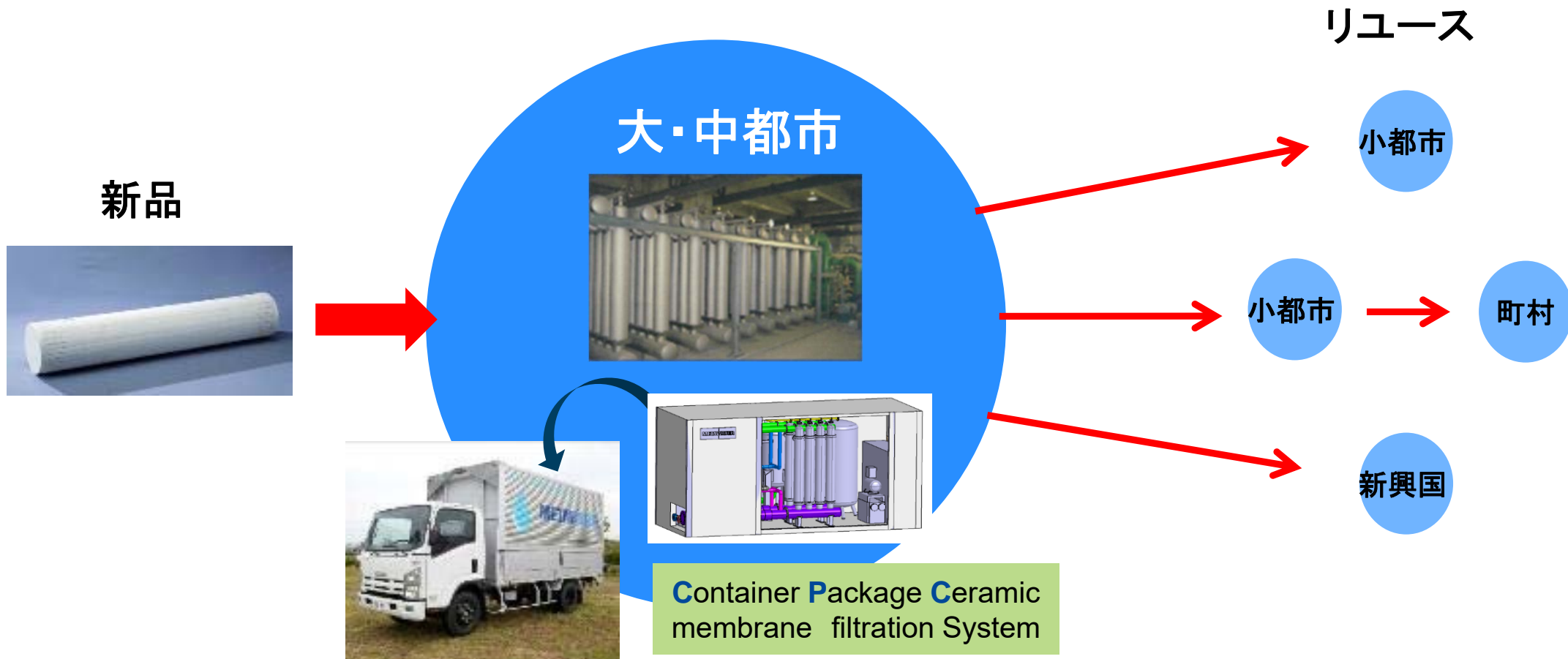


排熱の流れ →  
空気の流れ →

### ■ 受注実績

No	場所	施設規模	受注金額	受注時期
1	愛知県:衣浦西部浄化センター一殿	60t/日	45億円	2019年3月
2	東京都:北多摩二号水再生センター一殿	70t/日	32.5億円	2019年7月

大都市で使用したセラミック膜を小都市・町村へ。



## ■CPCの特長

- ・システムを簡略化、コンテナサイズにパッケージングして小都市・町村へ
- ・一定年数リースしたセラミック膜をリユース可能

2019

- **自己株式の取得**（2019年10月30日～2019年11月27日）  
買付数 : 420万株（発行済株式の16.2%）  
取得総額 : 142.9億円
- （参考）公開買付け後の主要株主  
日本碍子株式会社 保有数550万株 議決権比率25.33%  
富士電機株式会社 保有数530万株 議決権比率24.40% 計49.73%

2020

- **自己株式の活用方法の検討**
  - ①消却
  - ②株式報酬（役員及び従業員向け）
  - ③企業価値向上のための戦略的使用など、さまざまな可能性を検討していきたい



## ディスクロージャーポリシー

### 1. 基本方針

当社グループは、企業理念に基づき、社会とともに持続的な発展を遂げるため、すべてのステークホルダーの皆様の期待にお応えし、社会から信頼され、社会に貢献し続ける企業グループを目指します。この考え方にのっとり、当社グループは、ステークホルダーの皆様や社会に対して当社グループに係る企業情報を公正・公平かつ適時・適切に開示するとともに、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションを図ることにより、当社グループに対する理解促進を図り、透明性・信頼性の高い経営に努めます。

### 2. 情報開示の基準

会社法、金融商品取引法などの諸法令および金融商品取引所の定める規則などにより開示が求められる企業情報について、それぞれの法令や規則などにのっとり、情報開示を行います。また、法令や規則などに該当しない企業情報であっても、ステークホルダーの皆様により有用であると判断される情報や社会的に開示が必要と判断される情報について、可能な限り積極的に情報開示を行います。

### 3. 情報開示の方法

上記の法令や規則などにより開示が求められる企業情報については、それぞれの法令や規則などで定められた方法により情報開示を行うとともに、当社ホームページに掲載します。上記の法令や規則などに該当しない企業情報については、その重要性や緊急性を考慮し、報道機関や当社ホームページなどを通じて情報開示を行います。

### 4. 情報開示後のコミュニケーション

開示した情報に関して、会見、説明会、取材、問い合わせへの回答などを通じ、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションを図ります。また、コミュニケーションを通じてステークホルダーの皆様からいただいたご意見などは、当社グループ内で共有し、今後の参考とさせていただきます。

### 5. 沈黙期間

決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算（四半期決算を含む）期末日の翌日から決算発表までを沈黙期間とします。沈黙期間中は、業績予想の修正に関する情報開示を行った場合を除き、決算・業績見通しに関する会見、説明会、取材、問い合わせへの回答など差し控えます。

### 6. 将来の見通しについて

当社グループが開示する業績予想、戦略、目標などのうち将来の見通しに関する記述は、当社グループがその時点で入手している情報および合理的であると判断される一定の前提を根拠としており、実際の業績などは様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

### 7. 社内体制の整備

ディスクロージャーポリシーを遵守し、適切な情報開示およびステークホルダーの皆様とのコミュニケーションが図れるよう、社内体制を構築するとともに社内規程を整備します。



【本資料に関するお問い合わせ先】

メタウォーター株式会社 CSR推進室 広報IR部

Tel:03-6853-7317 Fax:03-6853-8709 E-mail:pr@metawater.co.jp

# 【参考】研究開発費・設備投資・減価償却費

(億円)

	'19/3期 通期実績	'20/3期 通期実績	増減
研 究 開 発 費	19	24	+5
設 備 投 資	7	8	+1
減 価 償 却 費	13	11	▲2





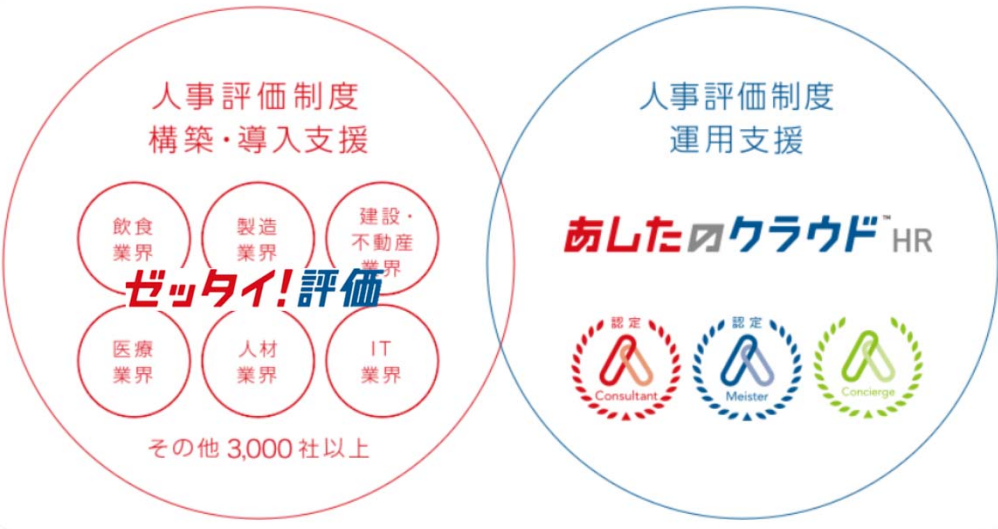
## 働き方改革を加速

社名	株式会社あしたのチーム
本社所在地	東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX 11階
設立日	2008年9月25日
資本金	5億4,510万円 (資本準備金含む)
代表者	代表取締役 高橋 恭介
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事に関わるコンサルティング事業</li> <li>・AIを搭載した人事評価クラウド事業</li> </ul>

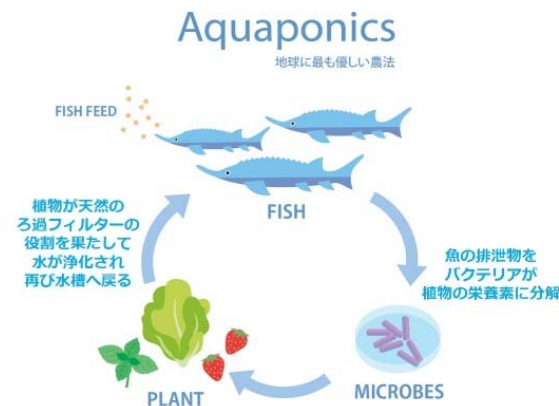


## 上下水道施設の新たな利活用

社名	株式会社プラントフォーム
本社所在地	新潟県長岡市上前島1-1863
設立日	2018年7月24日
資本金	9,250万円 (資本準備金含む)
代表者	代表取締役 山本 祐二
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクアポニクスに関する企画、設計、施工、運営委託業務</li> <li>・野菜の栽培、魚介類の養殖、および加工と販売</li> <li>・アクアポニクスに関する制御システムの設計、開発、販売</li> <li>・アクアポニクスに関する教育研修、人材派遣</li> </ul>



## 魚と植物を同時に育てる循環型農業



# 【参考】'20/3期の成果ーパートナーシップ(海外)



**FUCHS**  
A Metawater Company

\* 2019年 5月子会社化

社名	FUCHS Enprotec GmbH
所在地	ドイツ ラインラントファルツ州 マイエン
設立	1974年
代表者	会長: Peter G. Baumann (AAS兼務)、社長: Christian D. Henrich
主な事業	排水処理向け散気装置、攪拌機の開発/設計/製造



## 【特徴】

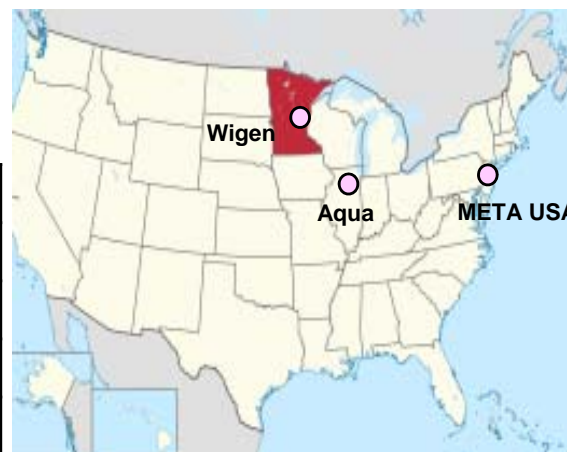
- ・散気・攪拌装置の開発/設計/製造
- ・60カ国、3,500超の納入実績



**WATER TECHNOLOGIES**  
A Metawater Company

\* 2020年 4月子会社化

社名	Wigen Companies, Inc.
所在地	アメリカ合衆国 ミネソタ州 (ミネアポリス近郊)
設立	1965年
代表者	取締役会長: 秋川 健 取締役社長: Jeff W. Wigen
主な事業	膜処理・イオン交換などの水処理機器の開発/設計/製造



## 【特徴】

- ・膜処理、イオン交換等、水処理機器の開発/設計/製造
- ・飲用再生水分野の実績有



## 【参考】工事受注・完了/運転・受託件数

### 国内

- \* 工事受注: 10億円以上10件(総計 190億円) (前期13件 総計253億円)  
5億円以上10億円未満26件(総計168億円) (前期19件 総計124億円)
- \* 工事完了: 受注高10億円規模以上16件 (前期13件)
- \* 運転・維持管理 新規受託: 6件
- \* 運転・維持管理 業務開始: 1件

### 海外

- \* 受注  
スロバキア共和国: 浄水場向けセラミック膜エレメント

# 【参考】案件リスト

## 工事受注(10億円規模以上)

	案件名	都道府県	セグメント
1Q	汐留第二ポンプ所電気設備再構築工事	東京都	PE
2Q	三鷹市東部水再生センター監視制御設備等更新工事(第三期)	東京都	PE
	単槽型硝化脱窒プロセスのICT・AI制御による高度処理技術実証研究	東京都	PE
	北多摩二号水再生センター汚泥焼却設備再構築工事	東京都	PE
	東尾久浄化センター尾久系ポンプ室沈砂池機械設備工事	東京都	PE
	諏訪南リサイクルセンター建設工事	長野県	SS
3Q	東尾久浄化センター尾久系ポンプ室電気設備工事	東京都	PE
	東尾久浄化センター発電設備工事その4	東京都	PE
	(仮称)松戸市リサイクルプラザ整備事業	千葉県	SS
4Q	兵庫東流域下水汚泥広域処理場4号焼却炉長寿命化工事	兵庫県	PE

## 運転・維持管理 新規受託/業務開始

	案件名	都道府県	セグメント
1Q	東白川村簡易水道施設運転管理委託業務[新規受託・業務開始]	岐阜県	SS
	福知山市上水道事業等包括的民間委託業務[業務開始(既受託分)]	京都府	SS
3Q	田原リサイクルセンター長期包括運転維持管理業務[新規受託]	愛知県	SS
	伏見 水処理施設運転管理委託[新規受託]	京都府	SS
	伊勢原浄水場運転維持管理業務[新規受託]	神奈川県	SS
4Q	(仮称)松戸市リサイクルプラザ維持管理業務委託[新規受託]	千葉県	SS
	水道設備管理システム構築及び運用・保守業務委託[新規受託]	神奈川県	SS

## 受注(海外)

	案件名	国	セグメント
2Q	スロバキアの浄水場向けセラミック膜エレメント	スロバキア共和国	PE